



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2022.7.29

№ 362

たてしな野外音楽堂

音楽で満たされて

白樺高原音楽祭 クリスピージャム22



7/23 (土) たてしな野外音楽堂、蓼科園地で行われた「白樺高原音楽祭クリスピージャム'22」は100名近い出場者・参加者でにぎわい、素晴らしい音の共演に聞き入りました。

地元細谷の大正琴『美音の会』に始まり、リコーダーアンサンブル、ピアノ連弾・ソロ、フルートアンサンブルなどが続き特に14人によるフルートアンサンブルは圧巻でした。



ビオラ・ダ・ガンバの素朴な響き、テナーサックスの人生を感じさせる深い調べなど心にしみました。私たちのバンドも手拍子などもらって頑張りました。



大トリは、矢野先生率いる「ユニットNINE」確かな技術に裏打ちされた見事な演奏でアンコール曲を3つも演奏してもらいました。お天気にも恵まれ、大成功でした。

「暮らし応援のあったか県政に」
変えるチャンス
2度目の挑戦、ぜひとも金井
さんを押し上げてください。



わたしが県知事になれば、「子どもの給食費は無償に、医療費も個人負担をなくします。高校生のタブレット購入に補助を出して、子育て家庭を応援します。」

雨の中訴える金井忠一さん。↑
佐久げやき公園にて

応援に駆け付けた女性たち



清浄なハス

時間ができたので、友人と信濃国分寺のハスを見に出かけました。田んぼ3枚ほどの広さに蓮の花が広がっています。もう盛りは過ぎて、実となっている花も多かったんですが、それでもピンク、白のハスの花が咲いていました。‘清浄無垢’‘清らかな心’の花言葉がぴったり。県知事候補で奮闘中の金井忠一さんたちの一年を通しての整備のたまものです。



長〜い!

今週のパチリ!

我が家のナス。今年は長ナスの苗を植えたところ、とても長〜いナスができました。モノサシを当ててみるとなんと34cm! ウナギの長さです。でも皮も果肉も柔らかく、お漬物にもみそ汁の具にもマーボナスにもピッタリ。柔らかくて歯触りが良く、おいしくいただいています。ナスの漬物は色よくつかり、お茶の時間には欠かせません。

7/21(木)
子ども議会

質問「どうしたら人口減少を止められるんですか」

鋭い質問に、議員タジタジ...



議長「質問ありますか」
次々と手が挙がり、時間が足りなくなった。



役場玄関で6年生を迎えご挨拶する田中議長

質問にもお応えしますよ」町長も「コロナ対策に一層気を付けてください。」とのご挨拶。

1クラスを4班に分けて、議員も4つに分かれ、役場庁舎を案内。防災無線室、土地改良室・町長室を案内。各課の仕事を説明し、議場へ。

4階ではまず、登庁ランプを押し（当日は班のなまえとなっていました）、控室、議会事務局、議長室、2つの委員会室を見学して、本会議場につくと会議場につくと、まず、傍聴席を一回り。「ここで議会の様子を見ることが出来ます。皆さんもぜひ、一度は傍聴においでください」と案内。

県知事選挙公示日の21日、役場に6年生を迎え、10時から、11時からと1組、2組が順番に庁舎を訪れ、議会の模擬体験をしました。

まず玄関で田中議長がお出迎え、「13日には議会の仕組みや仕事について、学習をしてもらいました。今日は、学習をしてもらいました。今日は、学習をしてもらいました。今日は、学習をしてもらいました。」



「ここで各仕事の許可などハンコを押したり、議員や住民からの陳情・相談を受けたりします」と町長の仕事を説明する両角町長。

議場に入るときは一礼をし、生徒の名札の書いてある席に座って議長が着席するまで待機。

議長が各人の名前を呼び、呼ばれた児童「ハイ、〇番〇〇です」と応える体験をした後、「それでは本日の会議を開きます。質問のある議員の質問を許可します」との本番さながら口上で質問を促すと次々と手が挙がり以下の質問が。質問は議員の質問席で、答弁は議員が答弁席で交代で答えました。

Q「立科町が抱える課題は何ですか」

A、少子高齢化で、人口が減るという問題です。

町の人口が減ると、町の元気がなくなり、集落が維持できなくなり、暮らしていけなくなるという問題も起きます。

町は何とかして、町に住んでもらう人を多くしようとあれこれと工夫をしています。

Q、「どうしたら町の人口をふやせるのですか？」

A、これはとても難しい問題で、みんなで考えて居るところです。そこに住んでもらうには、働く場所がなくてはならないし、住むところも必要です。また皆さんが住み続けたいと思う魅力もなくてははいけませんし、みんなで知恵を集めて考えていきましょう。

Q、どうして議員になろうと思ったんですか。

A、町をもっとよく住みよい町にしようと思ったからです。

Q、「町は SDGsについて、どのように取り組んでいくんですか？」

A、(村田が答えました。)

現在町では「気候温暖化対策の計画」を策定中です。町・県・国・事業所・国民とそれぞれの立場でできることをやっていくことが必要。例えば私たちにできることとして、燃やすごみを減らす、水・電機など無駄使いをしないこと、遠くから燃料や電気を運ばず、水力・太陽光など身近なところでエネルギーを自給できるようにするシステムを作るなど、様々な取り組みが必要です。ご一緒に意見を出し合って、取り組んでいきましょう

Q、建設環境課が大変なことは何ですか。

A、ごみの減量化と台風19号災害の後始末です。

観光地である蓼科区には生ごみをCO2と水に分解する装置を置いて、生ごみの減量化に取り組んでいます。また台風19号の影響で河川や田畑が大きな被害を受けましたが、大方は復旧しましたがまだ、完全には元に戻っておらず、修復に時間もお金もかかっています。

他にも「なぜ議員の定数が減ったのか」「議員に休みはあるのか」などの質問がありました。

様々な鋭い質問に、議員も真剣に答えていました。「子ども議会をやってよかった」というのが議員全員の感想でした。

